

## 謹賀新年



瀬戸の朝

広島県三原市筆影山 小野 勲さん

### 2009年 新春年賀会のお知らせ

■広島支部 新春年賀会は例年通り下記内容にて開催いたします

日時：平成21年1月22日（木） 10:30～2:00

場所：通信システム事業本部 センタービル2階 多目的ホール

次第：本部新春年賀会（TV同時中継）

[第1部] 10:50～11:30 ご挨拶 社友会 蛇草会長 町田会長  
基本方針 片山社長

11:30～11:45 （本部休憩） 高齢者ストレッチ体操

[第2部] 11:50～12:10 会社役員紹介、辻 相談役ご挨拶

[第3部] 12:10～14:00 広島支部新春年賀会

広島支部年賀会参加者 記念撮影

社友会・紅葉会合同による会食、ビンゴゲーム等

会費：1,500円（年賀会当日、会場受付にて徴収します）

推進事務局：社友会 企画担当 細井、山根、田井、村上

紅葉会 代表委員 徳永

[その他連絡事項]

新春年賀会会場が（シャープ通信システム事業本部）と成っていますが、社友会会員はバッヂ・名札を着用。駐車は入門時にシャープ保安係員の指示に従って指定場所に駐車してください

### 主要記事

- 1面 賀詞 新春年賀会のお知らせ
- 2面 春夏秋冬
- 3面 役員会便り  
地区担当委員報告
- 4～9面  
HOW DO YOU DO  
同好会報告
- 10～11面  
秋季旅行  
「楽しかった沖縄旅行」
- 12面 シャープ創業百年史  
社友短針  
新入会員の紹介  
編集後記

発行	シャープ社友会広島支部
	支部長 吉久清春
	電話・FAX共通：082-420-1728
	〒739-0192 東広島市八本松飯田2-13-1
	E-Mail：shayukai-hro@bz01.plala.or.jp

# 春 夏 秋 冬

## 新型インフルエンザについて

広島支部長 吉久 清春

### ～ごあいさつ～

新年明けましておめでとうございます。  
ご家族お揃いで新春を迎えられた事を心からお祝い申し上げます。

平素は広島支部の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年は、暗いニュースが次々と発生しました。政治の不安定は国民生活に色々歪みを生じ社会の秩序を狂わせます。我々のこれからの生活安定を考えると一日も早く解決すべき問題が山積です。

今年は人にやさしい社会環境であってほしいものです。政界も人の立場になって考え、国民を引っ張って行く政党集団が望まれます。変われば世の中も変わるのでしょくか？ 早く金融、雇用の不安を無くし安心できる社会を実現してほしいと期待します。

広島支部も12月末で300名の大世帯となりました。また、同好会も新しく“ものづくり同好会”を加え13を数えるまでになり幹事の指導で活発な活動がされています。ホームページも充実し、予定表、各同好会の活動もタイミングよく掲載されています。地域会員も地区委員の働きで活発になってきました。地域の会員が増えるに従い横の連携が取れつつあります。

### ～環境対応～

今、我々がなすべきことは自分たちの生活、孫の為に住みよい社会を作って行く事です。これから物忘れ、体力の衰えが始まります。これらを防止するために日々の生活の充実、出来るだけ人との対話、地域との交流を図り、いつも頭をリフレッシュする。また、体力を付け健康で楽しい生活を営む事です。

広島支部では2つのテーマを進めます。  
◎新しい入会者に同好会の活動をPRし、全員どれかの同好会に入る様勧誘したい。

◎地球温暖化の防止も急ぐ必要があります。我々身近な所から今年は真剣に取り組むを進めたいと思っています。“気付いた所から始めようエコへの取組”を実践しましょう。

### ～怖いインフルエンザ～

昨年国内・海外で大きなニュースとして鳥インフルエンザが話題になっています。なぜか理由は分かりますか？この鳥インフルエンザがじわじわと人から人に感染するウイルスに変身して新型インフルエンザとして世界規模で大流行（バンデミック）する可能性が極めて高い時期に来ています。どこで発生するか分かりませんが海外で感染した人を見つけるために空港では体温監視カメラが導入され、入国の時各自の体温を観測されています。発病すると40度以上の高熱が出るので水際で阻止するための防衛策です。しかし、発病まで2,3日かかるそうです。水際対策には限界があります。

今年はこの問題を真剣に考える必要があるようです。10月に配布された健康保険組合の薬の案内に従来と異なるマスクの斡旋がありました。なぜ、とっている調べてみました。単なるうわさではなく政府、県などは真剣にこの問題を考えています。11月に配布の有ったシャープ健康保険組合情報誌“WELL”にも細かく記載されています。流行すると今回の新型インフルエンザは従来のインフルエンザとは違いこれを退治するワクチンは現在ありません。1人の患者が出てそれから予防や治療のワクチンが作られるのですが完成に約6ヶ月かかります。その患者が飛行機で入国して来たのならば同乗の人達も同じ空気を吸っていますので全員隔離で発症しているか検査されます。過去、大正時代（1918年）に大流行したスペイン風邪（インフルエンザ）（致死率2%、39万人）のデータから推測すると日本で最大2,500万人が受診し、その内200万人が入院、64万人が死亡すると予測されています。

現在、ワクチンはタミフルや鳥インフルエンザから作ったものがありますが新型に効くかどうかは分かりません。

しかも、ワクチンをまず接種する人は医療従事者、政府関係者、公共事業関係者、と順位が決められており、一般者の中でも子供、若者、中年、高齢者の順となっています。

我々はバンデミックになると外出禁止となりますので当分（2ヶ月分）の飲料水、食糧等日常生活に必要な物資を確保しておく必要があります。

何処かでインフルエンザが発生したとニュースがあった時、それからの準備行動では市場がパニックになっているので必要な物を集める事が出来ません。店も開いていない可能性があります。各自早目の対策を進めましょう。備蓄を考えてください。

インフルエンザが流行りだすと人ごみには出ないこと、外出を控え、ウイルスを家庭に持ち込まないように外出中は抗ウイルスマスク（ウイルスを通さないもの）、帰った時は必ずうがいと手洗いをする習慣を付け、ウイルスに負けない為にも普段からバランスの良い食事と体力作りが必要です。

### ～社会活動！～

最後にシニアのみなさん、地域活動、社友会活動に参加するのも生き方の1つです。活動拠点では皆様のパワーが期待されています。前向きに参加しませんか。

今年も元気で素晴らしい1年でありますようお祈り申し上げます。

参考資料  
WILL (VOL30/11月号)

## 役員会便り

代表幹事 山口 春香

### ※秋の懇親旅行・・・(2008年10月20日～22日)

本年は広島支部発足15周年の節目でもある事から“2泊3日の沖縄旅行”と洒落込みました。(詳細は10～11ページ参照)

### ※会社幹部との懇談会・・・2008年10月24日

今回のご出席：新井副本部長、千田副参事・・・事業本部の近況と今後の展望について、ご説明がありました。携帯事業は昨年実施された料金体系の見直しにて端末の買い替えサイクルが長くなり業界台数が大幅にダウン。そんな中でシャープはトップシェアを維持したものの計画齟齬により、全社の足を引っ張る結果となった。この反省を基に最先端の商品開発で差別化を図り、昨年までのダントツのトップシェア奪還を目差すとの力強い表明がありました。



【新井副本部長 千田副参事】

### ※2009年 新年賀会。・・・2009年1月22日予定

本年も昨年と同様、本部で行われる新年賀会にテレビ中継を通して参加後、広島支部としての新年賀会を実施します。

昨年は金融危機、更には10月以降市場は急速な悪化等、困難な課題を抱える中でシャープの経営トップの方針発表・ご挨拶を真摯に拝聴したいと思っています。

その後の支部の年賀会では趣向を凝らした種々の催しを予定していますのでご期待ください。

### ※ 配布会員宛の配布物の定期的な引取りのお願い

東広島在住の会員の皆さん宛配布の、シャープ“窓”、社友会広島支部の広報(ひびき)、他連絡事項等の配布物は社友会室配布棚の個人別配布袋に入れて保管していますが、数ヶ月も引取りに来られず滞留しているものが散見されます。

保管スペースの問題もさることながら、種々重要な連絡事項等が含まれている事もありますので少なくとも毎月1回は是非とも社友会室へ立寄って頂き、お引取り頂くよう宜しくお願い致します。

## 地区役員報告

地域担当・企画担当幹事 山根 行雄

中国地区	会員数合計	94	*発足時から3年で44名増	単位：名					
広島地区	49	山口地区	10	山陰地区	10	岡山地区	13	四国地区	12
		内広島	39	内福山	10				

地区相互の親睦・健康増進・情報交換促進など会員間の連絡ネットづくりなどを推し進めてゆく事が今後一層望まれます。

### 【広島地区】

10月3日「ゆうゆう会」発足5周年を記念し、銀河クルーズと宮島観光をセットして「第5回ゆうゆう会懇親の集い」を参加者総勢45名にて開催、総会懇親会と観光を楽しみ、参加者全員和気藹々の雰囲気の中親睦と旧交を温める絶好の機会となった。

10月25日広島地区設備営業OBが世話人となり、宮島安芸グランドホテルにて社友22名が集い「第11回シャープ設備OB会」を開催した、

翌26日、宮島観光実施して大いに親睦と旧交を温めることができました。

### 【山口地区】

「第2回 山口シャープ勤務OB会」(山口地区特会)を本年秋に開催に向け準備中です。毎月社友会仲間で周防灘近海で船釣りを楽しんでいます。支部・地区交流一環として地元の松田地区委員に世話を戴き、同好会「あるこう会」メンバー15名が(10月4日～5日)1泊2日「津和野・温泉津温泉コース」にあわせ山口県周南市須金のフルーツランド「松田観光農園」に立寄り、20世紀梨狩り・ブドウ狩りを堪能できました。

### 【山陰地区】

10月度、広島地区「第5回 ゆうゆう会 懇親の集い」へ山澤地区委員とOB伊藤さん2名の方が鳥取市から参加戴き、広島地区社友との情報交換を通じ

て親睦と旧交を図ることが出来、次年度、山陰地区OB開催へ向け弾みがつきました。

### 【岡山地区】

12月14日OB懇親会実施(参加者：33名)

発足後11年間のラスト年となる忘年岡山シャープOB会を「チボリ公園」で実施しました。

OB会開始3時間前から入園、混雑するチボリ公園を懐かしく堪能してから園内にある”和食レストランくらしき”にて昨年の4割強増の33名のメンバーが参画し、懇親会を開催しました。予算の割には料理の会席和食・飲み放題も好評、ビンゴゲームの盛り上がり又、チボリの冬の光り祭典2008夜のイルミネーション、巨大クリスマスツリー等々光の世界の拡がりを堪能しました。

又、懇親したあと光の祭典コース班と岡山柳町2次会班に別れ更なる盛り上がりを見ました。

翌日は2次会の酔いも忘れ、岡山国際ゴルフクラブにてゴルフコンペ開催。快晴の中、中村雅信さんの優勝にて終わりました。



【岡山シャープOB会忘年会】

### 【四国地区】

現在、四国4県下12名の地区会員に分散して在住されており、会員間の交流・親睦がうまく図られておらず、これを円滑に行う為、補佐役(委員)の選任も含めて強化すべくアプローチ中です。

最後に成りましたが、今後とも、会員の皆様のご協力をたまわり、社友会活動に頑張る所存です。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

ランク	氏名	得点	ランク	氏名	得点
1位	村上幸一	610点	4位	勝山敏治	583点
2位	細井博文	592点	5位	堀岡真由美	573点
3位	出口昌孝	588点	6位	小森山光郎	554点

「第41回 12月大会はサウスポーの村上孝一さんが念願の優勝を勝ち取る」

2008年12月13日(土)第41回ボウリング大会開催した。開催1週間前の朝夕は氷点下の冬将軍到来で天候を心配したが当日は随分暖かく感じる朝を迎えほっとし、大会をスタート出来ました。

12月大会は今年4回目であり会員も10月、11月実施の月例会含め日頃の練習成果を遺憾なく発揮できた。開催に際し、当同好会に新加入頂いた「社友会の小森山光朗さん」・「友田光枝さん」を紹介し、参加者18名(社友会12名、紅葉会2名、招待会員4名)の参加競技で大いに盛り上がる結果を得た。

大会の成績は日頃練習に努力された社友会の村上さんが優勝を勝ち取られ、拍手で賞賛し全員で労をねぎらった。

今大会のハイゲーム賞(HDCP含む)は(男子の部)勝山敏治さん217点。(女子の部)堀岡真由美さん219点。今回ノーミス賞は数名の方があと一步という所まで頑張ったが該当者はありませんでした。参加者全員の実力伯仲で今年の大会も連続優勝者がでなかった、大会当日のコンディション次第で全員に優勝のチャンスあり、一投毎に一喜一憂する状況にありました。

今年最後の12月大会参加者全員の熱意と盛り上がりで、有終の美を飾ることが出来た。



【準優勝:細井さん 優勝:村上さん 第三位:出口さん】



【12月大会参加の皆さん】

釣り

いい蛸(中には大型の真蛸も!)

川田 正勝

今回の釣りは「いい蛸」の報告です、広島では福山の鞆へ行くと露店でいい蛸の煮付けを売っています。又、スーパーの魚売り場でも季節(10月~12月)になるとよく出ています。蛸の小さいものと思ってください。釣行日は11月23日行き先は香川県の多度津港沖です。私の田舎は善通寺ですから多度津からですと車で30分の所です。最近までは福山、多度津間にフェリーが有りましたので、田舎へ帰るときは多度津へ降りていましたが今は廃止になっています。途中今治沖の伊予灘を通りますが波が高く苦勞しています、幸い11月23日は波高0.5メートルと穏やかでしたので、丁度2時間で多度津に着きました。ポイントに着けば100パーセント釣れるのがいい蛸で、多い人で300匹少ない人でも200匹は釣れます。多い人は1分に1匹です。(5時間=300分、300匹です)、多度津沖のポイントに着くと釣り船が50隻はいました全部いい蛸釣りです。早速釣り開始です。いい蛸は釣りといっても仕掛けに抱きつきに来た蛸を針で引っ掛けるのです、餌は要りませんテンヤで引っ掛けるのです。ピンポン玉の下に針が5本付いています、ピンポン玉に抱きついた蛸を針で引っ掛けます。

釣りかたは簡単ですが数を釣るのが難しいのです、

やわらかい竿で蛸が抱きついた時に糸を巻きます、そのタイミングが難しいのと上げる途中で落とします、簡単なようで難しいのが釣ります。

ときには真蛸、こうイカ、が釣れます。この日も吉久さんに大きな真蛸が釣れました。(写真) また全員200匹は釣れました。いい蛸は湯掻いておでんに、煮付けても美味しいですよ。

次は太刀魚が釣りたいのですが今年はまだ釣れていません、海水の温度が高いそうです。

釣りは楽しいです、つり同好会へ参加してくださいお待ちしております。



【大型の真蛸を釣り上げ満足吉久支部長】

「大波・小波の優勝」

コンディション管理が課題か？

出口 昌孝

第115回コンペは、平成15年にプレイして以来5年、久々のコース会場「白竜湖」で開催した。当日の天候は終日曇りでコンディションは上々でした。しかしグリーンは速くカップ付近での変化に成績が左右された選手も少なくなかった様子でした。

結果は初優勝から2年間の地道な努力の成果でしょう。12アンダーの見事な優勝です。その半面、11月「悪条件に強くなる努力家」として優勝の見事な弁を裏切る結果もあり、今更「気の抜けないスポーツ」と思い知らされたことでしょう。また、当日は「倶楽部ハーフコンペ」への参加もあり、シャープメンバーの58% (31名) が入賞の「おみやげ賞品」もゲットし盛況でした。

第116回コンペは、約1年ぶりの会場でその後経営会社も変わり、倶楽部周辺の改装ですっきりした感じでした。コースイメージは変わらないが、松くい虫のせいかな？コース間の木々の伐採で幾分景色が変わって見えました。慣れたコースのひとつとは言えグリーン上での苦戦か？トップ成績が伸びず全体レベルの緊迫戦でした。

結果は、9ヶ月振り通算9回目の優勝、「天気が良くパートナーに恵まれ、ようやくの・・・が出来た」などの弁が憎らしい、やはり実践回数で常に練習努力の必要性を感じたことでしょう。又もや前回トップが下位に位置する結果で実力差の接近の証でしょう。

第117回コンペは、今年最終戦で師走も半ば近くになり、寒波予報を裏切りながらの晴天で、心地よいゴルフ日和でした。今期最終戦（来年3月）での「グランドチャンピオン賞」を賭けてのエントリー最後の2名も懸かったコンペとあって、スタート前は意気込みが感じられる雰囲気でした。

結果は、5アンダーのダントツで一人舞台の優勝です。ホームコースとするメンバーが低迷の中、日頃セルフコースで乗用カート慣れのせいかな？後半足腰のお疲れ様子を尻目に頭角を現し、今年2回の優勝と昨年5月入会からは3回目で、技量・スタミナの向上振りが素晴らしい。

これで来年3月まで自主トレ期間として各自で健康増進と技量の向上に努め、その成果を再びこの会場のリベンジを楽しみにしています。

平成20年度 第7戦～第9戦の成績								
(NET スコア)								
第115回コンペ(18H) (10/31白竜湖C/C)			第116回コンペ(18H) (11/17広島国際G/C)			第117回コンペ(18H) (12/12賀茂C/C)		
順位	参加者	par	順位	参加者	par	順位	参加者	par
1	西尾	-12	1	杉山	-2	1	桂	-5
2	車角	-5	2	塩安	-2	2	鈴木	0
3	松見	-3	3	出口	-1	3	沖田	+1
4	桂	-2	4	中村	-1	4	松本(邦)	+2
5	吉田	-2	5	丸山	0	5	中下	+2
6	山口(剛)	0	6	堂本	0	6	佃	+2
7	出口	+1	7	末沢	+1	7	江本	+3
8	末沢	+1	8	山本(博)	+1	8	吉田	+4
9	中下	+1	9	山本(善)	+1	9	山本(善)	+4
10	清田	+1	10	相馬	+1	10	奥村(昌)	+4
11	村上	+1	11	高見	+2	11	山内	+5
12	山脇	+1	12	堀	+2	12	松見	+5
13	堀	+2	13	神野	+3	13	丸山	+6
14	岩垣	+2	14	中下	+3	14	出口	+7
15	長谷川	+4	15	鈴木	+4	15	堀	+7
16	小谷	+4	16	山田(晃)	+4	16	矢野	+8
17	高見	+4	17	矢野	+4	17	勝山	+8
18	鈴木	+5	18	渡辺	+4	18	山本(博)	+9
19	猪飼	+5	19	嵐	+5	19	河上	+9
20	渡辺	+5	20	原田	+6	20	津郷	+9
21	松本(邦)	+6	21	山脇	+6	21	岩垣	+10
22	湯浅	+6	22	松見	+7	22	渡辺	+10
23	細田	+6	23	猪飼	+7	23	伊藤	+11
24	矢野	+6	24	桂	+8	24	嵐	+12
25	相馬	+7	25	吉田	+8	25	徳永(文)	+12
26	堂本	+7	26	沖田	+8	26	井上	+12
27	伊藤	+8	27	村上	+8	27	相馬	+13
28	弓井	+8	28	明石	+8	28	益田	+13
29	松本(全)	+8	29	佃	+8	29	山脇	+13
30	原田	+9	30	吉久	+8	30	車角	+14
31	山口(春)	+9	31	伊藤	+9	31	中村	+14
32	中村	+9	32	徳永(文)	+9	32	村上	+14
33	山内	+10	33	村重	+10	33	塩安	+14
34	伊野部	+10	34	清田	+11	34	谷口	+16
35	勝山	+10	35	奥村(昌)	+11	35	杉山	+17
36	杉山	+11	36	佐々木	+11	36	山田	+17
37	山本(善)	+11	37	谷口	+12	37	原田	+17
38	沖田	+11	38	車角	+12	38	奥村(恭)	+17
39	嵐	+12	39	山口(春)	+12	39	細田	+17
40	神野	+12	40	湯浅	+12	40	吉久	+18
41	山本(博)	+12	41	小谷	+13	41	村重	+18
42	江本	+12	42	伊野部	+13	42	神野	+19
43	河上	+12	43	西尾	+15	43	末沢	+20
44	村重	+12				44	清田	+20
45	新宅	+15				45	井谷	+23
46	津郷	+15				46	佐々木	+24
47	谷口	+16						
48	佃	+17						
49	奥村(昌)	+17						
50	黒田	+17						
51	森本	+18						
52	明石	+19						
53	佐々木	+21						
	OUT / IN		OUT / IN		OUT / IN			
N.P	松本(邦) / 原田		山田(晃) / 谷口		出口 / 清田			
	車角 / 鈴木	N.P	山口(春) / 塩安	N.P	車角 / 山本(博)			
	西尾 / 山脇		小谷 / 高見		丸山 / 末沢			
	中下 / 山口(剛)		嵐 / 神野		嵐 / ドロー			



第115回コンペ  
準優勝 車角さん  
優勝 西尾さん  
第三位 松見さん



第116回コンペ  
第三位 出口さん  
優勝 杉山さん  
準優勝 塩安さん



第117回コンペ  
準優勝 鈴木さん  
優勝 桂さん  
第三位 沖田さん

あるこう会は健康のバロメーター  
あるこう会に病魔から救われた

藤井 良幸

～なんか身体がおかしい～

私は、65年間の人生で一度も入院経験がなく、やや健康を過信していた。しかし、今年になって思いがけない試練を迎えることとなる。4月、龍王山ウォーク例会の時、登山し始めて10分もたたない頃、急にめまいがして皆の声が遠くに聞こえ、視界がカラー映像からセピア色に変わって立っていられなくなった。顔色が悪いと指摘された。しばらく休んでゆっくり登ることでなんとか頂上に辿り着くことができた。6月、尾道ウォークの時、神社の急な長い階段を登った時めまいがしたと思ったが、やはり皆から顔色が悪く血の気がないと指摘された。9月久井ウォーク。天文台に登る道でやはり10分ほど歩いた時、皆の声が遠くなり、視界がセピアになり立っていられなくなった。3回も同じような症状で脱落したことは、身体に何かあるということ、皆からも指摘され、自分でも異変を察知した。

～検査を受けてみよう～

8月に集団検診を受けた時、不整脈があると指摘された。とりあえず循環器系のS病院へ行き、血液、精密心電図の検査を受けた時、不整脈は正常範囲だが、血液検査でヘモグロビンが基準値の半分以下しかなく重度の貧血症と診断された。これは身体のどこかで血液が漏れているとのこと。貧血症のために酸素不足でめまいがしたのだった。とりあえず造血剤の点滴と鉄分の薬の処方を受けた。医師はすぐに消化器系の検査を受けよとの指示。すぐI病院で胃カメラ、大腸内視鏡、腹部CTスキャンの検査を受けた。

～異変見つかる～

検査の結果、大腸の盲腸の上付近(上行結腸)に進行性の腫瘍があり、そこから出血があったが大腸の上流部分で便が水様状のため血便として認識されない。腫瘍のために便の通路が細くなり、またしかも1腫瘍の硬さのために本来大腸の運動機能である伸縮による蠕動運動ができなくなり、進行とともにフン詰りになると宣告された1ヶ月2ヶ月待てる状況ではなく、1週間2週間を争う事態で即手術必要との宣告。TV番組ではないが

「最終警告！このまま放っておいたら大変なことになりますよ！」

～そして手術～

そう言えば右腹部に、かすかな痛みというか、何か違和感があるのは夏頃から感じていた。65年間入院経験のない者にとって、手術とは目の前が真っ暗で谷底に落ちる思い。医師が手術は今週か来週かとせきたてる。10月はじめの社友会温泉津温泉1泊旅行を予約していた。しかし旅行から帰って翌日の入院ではどうにもせわしくやむなく他の人に交代していただいた。広島市内の平和公園にほど近いC病院で、腫瘍の前後の大腸を30センチ切り取る開腹手術を受けた。文字通り“断腸の思い”であったが、部位が比較的手術しやすい位置で10日で退院できた。最近が開腹手術でも退院が早く、盲腸プラスαの退院日程だ。食道から直腸までの消化器官のうちで上行結腸が一番術後の機能制限がない部位であったこともラッキーであった。執刀医が西条寺家の人でローカルな話でリラックスできて緊張感が多少でもほぐれたのも良かったです。今回は日程がせきたてられるようにバタバタと進んだが、かえって気分的には楽だったようだ。余裕のある日程では落ち着かない日々が続いて憂鬱になるかも知れない。

～検査の重要性～

思い起こしてみると、大腸内視鏡検査は前日からの事前処置や大腸に内視鏡を1.5メートルも深く挿入されることを考えると日頃念のために受けることでは躊躇するのも当然である。しかし私の場合はこの検査で病魔が発見できたことは検査の重要性を認識せざるを得ない。身体の中にカメラが入るという検査は昔では考えられなく、見逃しか誤診で命を落とすこともあったのであろう。50才を過ぎると身体のどこかに異常が発生する確率が高くなるらしい。定期検診の重要性をあらためて思い知るようになった。

～あるこう会は健康のバロメーター～

今回の異常発見でも、あるこう会の登山がなかったら分からなかったかも知れない。日頃と違う身体的負荷を加えたり、皆に観察してもらうことで異常を客観的なものとして自覚できる。自分一人でいたら気のせいだろうと見過ごしかねない。あるこう会などで互いに顔を見合わせながら健康を確認し合う重要性を実感したような気がする。



【グリーンピアせとうち  
サンサン広場での記念写真】

12月6日、グリーンピアせとうち忘年会ウォークを実施。

恒例の忘年会ウォークは35名参加、ウォーキング、温泉、宴会、大衆演劇、歌謡ショーを観覧、来年の活動計画を話し合い、ラッキープレゼントを楽しんだ。

昼食兼宴会では今後のあるこう会の発展と会員の健康を祝して乾杯、懐石料理を食べて和氣藹々と忘年宴会を楽しんだ。



【グリーンピアせとうち  
水ヶ浦山ウォークの様子】

## ダンススポーツ

### 年末ダンスパーティー終わる

江頭 敏晴

今年は場所確保の関係で少し早く、11月29日に実施しました。例年のように瀬野のダンスサークルと合同で行い、瀬野サークルの招待客を含めて48名参加の大盛況でした。

当同好会からは男女13名が参加し、今年はパーティーの時間に当同好会の成果発表会をさせて貰い、ワルツ6名、タンゴ4名、最後にルンバを13名全員で踊りました。途中曲飛びのハプニングが有り、リズムが乱れましたが、何とか最後まで踊り切り、他の参加者の方たちから盛大な拍手を頂きました。

ダンスタイムには他所の招待客の人たちも気軽にお相手をして頂き、約4時間をみんな楽しく過ごしました。残念だったのは練習の時には、きれいに揃っていた

ましたが、本番で機械の関係で曲飛びがおこってしまった事でした。

今後は機械も持参で参加することにします。

これからも練習を重ねて種別、バリエーションも増やして行きます。

初心者の方には別に最初の基本から指導しますので安心して来て見てください。



【瀬野ダンスグループとの合同年末パーティー風景】

## ものづくり

### 昼時の談笑&忘年会!

梅田 正明

「ものづくり同好会」を今年6月に立ち上げて、はや半年が経ちました。

その間、月4回（火曜日グループ2回、金曜日グループ2回）の活動を続けてきました。会員は思い思いに自分のテーマを決め、熱心に製作し完成させています。

会員の技能も少しずつ向上し、順次新しい加工方法をマスターし、より美しい、より機能的な作品に挑戦しております。現在会員は22名、内訳は社友会17名、紅葉会5名で活動しています。

毎回の昼食時にはテーブルを囲んで弁当をいただきながら談笑し、楽しい時間を過ごしています。

10~12月の作品は、整理棚類、収納箱類、室内テーブル、みつばち飼育箱、ティッシュペーパーケース、家庭小物、トールペイント飾り物、小鳥形飾り物、ラティス、鳥かご、椅子のレザー張替え、内障子、自転車置き台、鶏舎、コタツの高脚・・・等様々です。

11月には忘年会・懇親会を行い、楽しいひと時を過ごしました。また12月の今年最後の活動日には、キムチチゲ、他の料理で昼食をとり、大掃除をして御用納めとしました。

今後もけがの無いように気をつけて活動し、各個人の技能の向上を図り、親睦を図り、生活に役立つ作品を楽しみながら作っていきたくと思っています。



【御用納め、キムチチゲで乾杯!】

## グラウンドゴルフ

### 新会員を迎えて

河上 國男

久しぶりに新しい会員を迎え活気が出てきたような気がします。10月10日（金）いつものように第3工場グラウンドでプレーしていますと見慣れない人が入り口付近にやってくるではありませんか、どなたかな～近づいて一呼吸小倉さんでした。小幡さんに誘われて見に来たとのこと、早速予備の用具でプレーの仲間入りその日の帰りには入会の快諾、うれしい一日でした。

河内パークゴルフの成績					PAR66
氏名	OUT	IN	TOTAL	RANK	
河上 國男	28	32	60	1	
山口 春香	28	34	62	2	
水谷 正弘	34	31	65	3	
小幡 友幸	34	35	69	4	
小倉 征男	38	36	74	5	
廣兼 惟央	42	35	77	6	

それから4回目の活動日にはご自身で初めての『止まり』も体験され楽しいプレーが続けられております。

11月21日には本年2回目の河内パークゴルフへ行き、数日前から急激な寒波に襲われブルブル震えながらのプレーでしたが2番ホールでホールインワンをだした河上がその後もまとめ6アンダーのスコアで1位でした。



【河内パークゴルフでの参加の皆さん】

## 囲碁、将棋

### 神経が磨り減った一戦

山口 春香

年が明けると囲碁、将棋同好会の世話役を引き受けて早いもので、6回目の新年を迎える事になりますが新たな年も先ずは元気で定例活動日は皆勤、あわよくば腕前を上げて勝率5割を確保したいものだとは張り切っています。

さて今日は2008年12月最後の定例活動日。9時50分に社友会室へ出向き、おもむろに碁石を出して対局の準備をしていると河上さん相馬さん、暫くして鈴木さんと坂田さんと何時ものメンバーが顔を出してくれました。

今日もいつもの様に相馬さんと対局、まずは私が黒石を手に盤上に2目をおいてスタート、毎度のことながら形勢は相変わらず白の優勢だったのですが、その後二転三転し終って見ると何と白黒同数。こういう事は滅多になく激しい攻防があった為か？神経が磨り減った一戦でした、但し次戦は大敗。

片方の席では河上さんと鈴木さんが対戦、此方はどうやら一勝一敗の互角、終始和やかな雰囲気の中で時には笑い声に包まれての一戦となり、背後には勝負の行方を見守る坂田さんの姿がありました。

2009年も毎月、第1月曜日10時半から活動します。囲碁、将棋の対戦だけでなく楽しい情報交換の場として楽しい時間が過ごせればとの思いで頑張っていますので時間の取れる方は是非社友会室を覗いてやってください。



【本年最後の対局風景】

## 写ろう会

### 三次の霧の海撮影は不発に

しかし紅葉の撮影は・・・

中西 康憲

10月の撮影会は、少し日程を早めて9月25日に行いました。

9月の中旬から出始めた三次高谷山からの霧の海撮影をメインの被写体に置き、霧の海撮影終了後吉舎の彼岸花群生、更には備北丘陵公園のコスモス畑の撮影等々、贅沢な撮影会を企画致しました。

当日は夜明け前には目的地の高谷山に到着しスタンバイするも、生憎霧が現れず無念の撤退！ 足取り重く次の目的地の吉舎町へ移動。吉舎の彼岸花や備北のコスモスはそれなりの成果が得られた撮影会であった。

雲海の撮影は当日の気温や風が大きく影響する事から70%は運に頼る被写体である。



【備北丘陵公園での記念写真】

11月の撮影会は11月11日～12日（1泊2日）の日程で、岡山県北部真庭市の神庭の滝、鏡野町の奥津峡・泉源溪谷・岩井の滝等各所での紅葉撮影を実施致しました。

当日の岡山県北部は天候にも恵まれ、更にはいずれの撮影ポイントも全山紅葉のベストタイミングでの撮影会となり、皆さん方もいつもより撮影枚数が大幅に

増えたと思われる位の撮影会となりました。

特に奥津峡は昼間も素晴らしい紅葉を見せてくれましたが、ライトアップされた夜の紅葉は一段と美しく、とても幻想的な一時を過ごせました。

この成果は今後開催される年賀会や定期総会での展示、更には各種コンテストへの応募等で皆さんにご披露されると思いますので乞うご期待願います。



【奥津峡の紅葉】



【鏡野町 国民宿舎“いつき”での朝食風景】

## 山歩会

### 臥龍山&深入山登山報告 (北広島町)

山根 行雄

#### 〔下見登山〕

今回登る「臥龍山」の登山は初挑戦で、事前ルート下見登山を実施の上、皆さんをご案内すべく、登山予定日の1週間前の11月12日に家内と2人で登頂実施、当日は、快晴で抜ける様な青空、周辺の山々は紅葉真っ盛りで、正に山が燃えるように綺麗で見事でした。菅原林道の終点広場へでて、近くの名水『雪霊水』の水汲み場で、名水をペットボトルの土産も持ち、紅葉(黄葉)の臥龍山を観覧眺望して楽しみ乍、家路に着きました。

#### 〔予定登山 順延〕 11月19日(水)

(広島2名、東広島9名 合計11名参加予定) 今季初の大寒波襲来、降雪の為、早朝、当日登山中止、1週間順延(11月26日)再実施することを関係者に連絡。

#### 〔順延登山〕 11月26日実施

〔広島3名、東広島5名、合計8名参加 内女性2名〕晴天1週間順延実施となりましたが、幸い天気も回復、戸河内の道の駅「来夢とごうち」へ総勢8名集合。弁当調達して聖湖近くの国道191号沿いの空き地に駐車、柔軟体操・コース説明後AM10時スタート。

近くの「聖湖キャンプ場側登山口」(780m)より登山開始、小石と朝霧に濡れた落ち葉の山道を踏みしめ、大寒波ですっかり落葉した雑木林をながめながら少し急な登り坂を登り、山腹にある菅原林道へ到着。

カーブの「臥龍山」表示板の前で集合写真を撮り、少し林道を歩き再び臥龍山登山道へ入り、中程の山道から所処の泥土などに足を捕られながら落ち葉の斜面を登り、1053mピーク通過。ブナやミズナラの巨木な木々の間から聖湖を遠望し、更に前進して山頂近くの尾根へ到着。尾根の山道には初雪が積もっていた。

尾根道を突き進み、2時間余り掛かって12時前に八畳岩の巨岩が鎮座する臥龍山山頂(1223m)へ到着。40分余り昼食休憩をとり、八畳岩に登ったり山頂から西側の八幡高原方面の山並を眺望後記念撮影を行い下山開始。濡れた落ち葉と小岩の混ざる急斜面や丸太の階段を下り、林道終点広場の「名水・雪霊水」の水場(1100m)に行き、各人美味しい名水をペットボトルに取水したり飲水してから、すっかり落葉したブナやミズナラの混在する谷間に樹齢100

年程度のミズナラの巨木が沢山ある原生林を観察しながら菅原林道をウォーク。途中で「きのこ狩り」にきた人に会い、採れたムキタケを見せて貰いながらムキタケの話を聞けました。小半時たち、キャンプ場表示板のある地点(往路・最初の林道出口)に到着。ここから再び、往路の登山道を下山、途中小休止をとり落ち葉と小石の混ざる山道を駆け下り、聖湖キャンプ場側登山口へ到着。数分舗道歩き駐車場へPM2時前に戻り、1時間足らずで無事下山完了。順調に臥龍山踏破、登山時間が1時間半余り短縮出来ましたので、「いこいの村ひろしま」へ立ち寄り休憩。

元気なメンバー6名が目前に迫る「深入山」登山に挑戦することになり、登山口から延々と続く階段を約50分余り登坂して深入山山頂(1153m)に登頂。臥龍山山頂からの見晴らしは良くなかったが、深入山山頂からは360度の大自然展望が広がり、目前に臥龍山と聖湖がはっきり見えた。深入山レストハウス側ルートより下山してレストハウス広場へと無事到着小休止して、「いこいの村広島」へ戻り解散。

今回、二つの登山が出来、終日晴天に恵まれ絶好の登山日和でラッキーでした。それにしても、此の時期は天候が変わり易く、登山日を好天にあわせ実施するのは中々大変であり、高い山ほど降雨・降雪につき十分に警戒を怠らないよう注意したいものです。



【臥龍山山腹にて】



【深入山山頂にて】

## 平成あそび隊

### 過ぎ行く時代!(ゼロ系新幹線)

松岡 良明

10月は、岡山県成羽町・吹屋地区の「べんがら」の町を見学、散策を企画して10月28日(日)に実施のところ行く途中から、雨になり已む無く途中中止としました。

11月は、リーダーの体調の都合で活動は出来ず、隊員各位にはご迷惑をおかけしました。

12月は、具体的な企画はありません。隊員各位は時節柄多忙な日々を送っているので活動は出来ない。隊

員各位と相談の上考えて行きます。

初代新幹線0(ゼロ)系が11月30日で営業運転を終了し引退した。

東広島駅で最後の勇姿を撮ってきました。



【東広島駅構内にて撮影】

# めんそーれ ” 沖縄 ”

## 楽しかった！「沖縄旅行」報告

日程：2008年10月20日～22日



### 【1日目】



- ①～②広島空港に集合：旅行日程の説明を受けさあ一出発です  
 ③ 約二時間のフライトで沖縄那覇空港に到着  
 めんそーれ沖縄の歓迎ゲートを抜け2泊3日の旅の始まりです  
 ④～⑥まず最初に訪れたのが琉球ガラス村：素朴なガラス工芸が体験出来る  
 ⑦～⑨続いてひめゆりの塔の見学で、戦争の悲惨さを改めて認識し平和のすばらしさを感じる瞬間でありました  
 ⑩～⑫ひめゆりの塔の傍のお店で昼食：長寿蕎麦を頂きました 美味！  
 ⑬～⑮次は平和記念公園：先の戦争で亡くなられた日米の方々がお祀りされているとの事です  
 ⑯～⑰続いておきなわワールドを見学：鍾乳洞・民謡・エイサーの公演観覧等々、飽きることなく楽しめるところです  
 ⑱～21本日の宿泊地かりゆし琉球ホテル：宴会・カラオケ・宴会終了後には沖縄民謡の体験で楽しい一日目を無事終えました



【ひめゆりの塔の前での記念写真】



【かりゆし琉球ホテルでの記念写真】



### 【2日目】



- ①～②二日目の朝、かりゆし琉球ホテルで朝食を取りさあ一出発です  
 ③ 皆さん元気でバスに乗り込み、今日も安全運転をお願いします  
 ④～⑤今日最初の訪問地は万人が座れる広場と言われ万座毛：まさに伝説のとおり絶壁の岬の上は万人が座れる芝生のきれいな広場であった  
 ⑥～⑩次ぎの訪問地は暫くバスに揺られて本島を北上、沖縄で唯一のビール工場オリオンビールの工場見学：お楽しみのビールの試飲もあり中には試飲リミットのジョッキ2杯を飲み干すツワモノもちらほら！ 皆さん堪能のビール工場見学であった  
 ⑪～⑭続いて沖縄フルーツランドの見学：フルーツの香りいっぱいです同園で昼食、鶏飯定食を頂きました  
 ⑮～⑲次は今回のツアーのメインの1つである美ら海水族館：広大な敷地の中に楽しみいっぱい！ ジンベイサメにも会えました





又、童心に帰って楽しいイルカショーも観賞しました  
 ⑳～㉓二日目の宿泊地は沖縄でもトップクラスのサンセットビーチで有名な残波岬ロイヤルホテル！到着後すぐに夕日観賞！食事は個々が和洋中から選択してのディナー！食後はロビーでの沖縄民謡の観賞とそれぞれがホテルライフを楽しみました



【景勝地：万座毛での記念写真】

【美ら海水族館前での記念写真】



【3日目】



- ① 三日目の朝、朝食を済ませ残波岬ロイヤルホテルの中庭で記念写真を撮り、最終日は世界遺産巡りに出発
- ②～④本日最初の訪問地は世界遺産座喜味城跡：田舎町の中に忽然と現れる石組みの頑強な城（グスク）跡、古の城が偲ばれます
- ⑤～⑩次は本日二つ目の世界遺産で今回のツアーのメインである首里城は琉球王国の政治・経済を司る行政空間と信仰上の聖域としての祭祀空間、そして国王達の生活空間と言う3つの役割を持っており、琉球王国の栄華が偲ばれる不思議な空間です復興された首里城公園はまさに琉球王国の要塞である
- ⑪～⑬続いて沖縄最後の訪問地は那覇市内の国際通りに向かいましたここでは各自がそれぞれ自由に散策しながら沖縄特産のお土産を調達しました \* 国際通り入り口に沖縄県庁があります
- ⑭～⑯大変満足の沖縄三日間の旅行であり、皆さんお土産をいっぱい仕入れて空港に到着、この日も綺麗な夕日を見せてくれました
- ⑰～⑱広島空港に到着ここで解散です！皆さんお疲れ様でした！！



【残波岬ロイヤルホテルの中庭で記念写真】

【首里城守礼門前での記念写真】



## 創業100年史 編纂室だより

(第5信)

### 社史編纂室では

12年に創業100周年を迎えるにあたり、社史の編纂を行っています。今回も、資料の収集と共に取材の中で得た、貴重なお話の一端を皆さんにもご紹介させていただきます。

### 続・シャープのアジア進出記

今回は、前号にも名前を出ていた佐伯専務（現・最高顧問）にまつわる話題を、岡田吉治郎さんの証言からご紹介します。

\*\*\*\*\*

昭和35年、当時はアジアといっても、インドからオーストラリアまでを担当し、各国ごとに望まれる製品の仕様も異なり、各地の代理店との交流を密にし、現地の皆さんの声を聞き、その要望に応えた商品をいかに届けるかが、我々貿易部の重要な仕事でした。

東南アジアに対して、佐伯専務は、総代理店（タイ・BTC社、香港・ロキシー社、台湾・声宝社）を非常に大切にされ、トップとの人間関係に大変こまやかな心遣いをされていました。

ご出張で各地を歴訪されると、必ず傘下の販売店をご訪問されました。代理店では、シャープのトップということで、観光のご案内を申し出るのですが、佐伯専務はそれよりできるだけ多くの販売店を回りたいと言われました。

販売店の店主は、日本の大企業のトップが直接訪問してくれるのですから大歓迎で、この時受け取った名刺や一緒に撮った写真を店に飾り、大きな誇りと呼んでいました。

これは、代理店の販売責任者にも良い刺激となっただけでなく、ビジネスにも大いにプラスになったのですから、これも大変喜ばれました。台湾での歴訪に同行し、台北→台中→高雄と、暑い中を車で移動し、主要ご販売店をご一緒に訪問したことが懐かしく思い出されます。

\*\*\*\*\*

皆さんの様々な経験が、シャープの貴重な財産です。どの様なお話でも結構です。是非、お聞かせください。お待ちしております。

シャープ(株)社史編纂室 電話 06 (6625) 0915

メール [sharp100@list.sharp.co.jp](mailto:sharp100@list.sharp.co.jp)

### 社友短針

地域社会へ積極的に貢献されているのが佐々木和治さんで、その活動状況は社友会ホームページの談話室コーナーでも紹介致しておりますが、近況でもボランティアバンクの立ち上げ並びに利用登録の積極推進を図っておられます。更には地域の防災連合会の会長にも就任され、「災害に強い地域づくり」にも奔走されております。

私達も少しは佐々木さんを見習って地域社会に貢献すべく活動したいものです。



【防災訓練で訓示される佐々木さん】

### 新入会員の紹介

平成20年10月1日～12月末までの入会者 敬称略

上山哲一郎 <small>かみやまてついちろう</small>	No. 4330	電子デバイス	総務部
太田伸一 <small>おおた しんいち</small>	No. 4340	通信システム	生産革新
別所俊司 <small>べつしょ しゆんじ</small>	No. 4358	SEMC	中国統制営業部
竹谷幸一 <small>たけたに こういち</small>	No. 4359	通信システム	資材部
喜多村年宏 <small>きたむら としひろ</small>	No. 4367	通信システム	生産技術部
岡村光人 <small>おかむら みつと</small>	No. 4368	通信システム	海外生産推進部
富木泰 <small>とみき やすし</small>	No. 4372	化合物半導体S(事)	生産管理
松原健次 <small>まつばら けんじ</small>	No. 4376	国内情報通信(営本)	管理部
小泉悟 <small>こいずみ さとる</small>	No. 4392	液晶DS第4(事)	第1技術部
田原正博 <small>たはら まさひろ</small>	No. 4393	ソーラーS(営)	第3営業部

12月末現在 広島支部会員数 300名

12月15日現在シャープ社友会会員合計	3,874名				
本部	2,601名	栃木	290名	東京	492名
広島	300名	九州	103名	東北	88名

### 編集後記

会報”ひびき”は平成5年10月の創刊号以来15年が経過致しました。

昨年10月には48号まで発行するに至り、そこに至るには皆様方のご支援・ご協力を頂いた結果の賜物と紙面をお借りしてお礼申し上げます。

さて、皆様方もお気づきの事と思いますが15周年を記念して本年最初の新春号(49号)より紙面の構成を縦書きから横書きに変え、ひびきのタイトルデザインも従来の”ひびき”から現代風の”hibiki”へと一新致しました。

タイトルデザインコンセプトは「セカンドライフは楽しく豊かに」そしてキーワードは、「明るく・元氣・お洒落もするし恋もする・人もいろいろ・やることもいろいろ」そんなイメージで元(通S)デザインセンターの山口正光さんにデザインをして頂きました。

会報を編集する広報として、編集作業のスピードUPと読みやすく・興味を持って見て頂ける会報に中味を変えていきます。

引き続き皆様方のご協力をお願い致します。

広報 Y/N

### 追悼 藤井 次郎さん (享年79歳)

支部会員 藤井次郎(ふじい じろう No.277)様が10月3日ご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 広島支部行事予定 1～3月

1月5日	シャープ(株)経営基本方針発表会 支部長・他3名出席
1月22日	新春年賀会(役員会)
1月31日	ホームページ更新予定
2月27日	定例役員会
2月28日	ホームページ更新予定
3月27日	定例役員会